

# 5月市会報告 (山科区版)

日本共産党京都市会議員団

こんにちは



宮田 えりこ



北山 ただお



年金者組合のみなさんの平和行進を激励(6/1)

「赤字だから」と値上げを繰返してきた京都市の国民健康保険料。二〇一一年度の決算見込は単年度で二億円の赤字に。百億円を超えていた赤字は今では四億円、赤字解消を最優先させてきた京都市。

ひどいのは、三年前は三九二件だった滞納による「差し押さえ」が三倍の一六五八件(二〇一〇年度)にも増えていることです。

日本共産党市議団は、国への意見書を提案し、他党に対して賛同を求めました。

## 一世帯あたり二万円超える赤字 国民健康保険料の 値下げを 徹底論戦

### 提案のポイント

「市民負担は限界、すぐに引き下げを」「職員を取立屋に追い込む取立て強化をやめよ」「減らされた国負担を元に戻すよう国に真正面から要求を」

しかし、他党はすべて(自民、民主・都みらい、公明、京都、みんな・無所属)、この提案に賛同せず否決となっていました。「高すぎて払えない」という切実な市民の声が聞こえないのでしょうか。

## 国への意見書を可決!

- 「子ども・子育て新システム」関連法案の取り下げを求める意見書
- 大飯原発3号機、4号機の再稼動に関する意見書  
現時点で安全性、国民理解も得られていない。国において、安全性の徹底確保、国民理解を充分得ること等、万全な対応を強く求めるもの。
- 「再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める」意見書
- 「陸前高田市から取り寄せた薪の早期解決を求める」内容の、市会決議も可決。

国会内外で  
力あわせがんばります



年金減で毎月3万5千円も大赤字のなか、年10万円も増税なんて…。

下請けは立場が弱く、親事業者に要求できない。不況だしお客さんからとれない。



国への意見書を、  
北山ただお議員が提案

## 消費税増税 ストップを

## 焼却灰溶融施設やめよ

動かせば毎年二〇億円超



京都市が進めるこの施設、総工事費は一八〇億円。完成予定は二年前の五月末でしたが、トラブル続出で動かすたびに事故ばかり。試運転再開のメドも立たず、今年度の予算に運転経費をつけられませんでした。

この間、新聞・テレビでも報道され、地元住民からも「なぜやめないのか」との声が広がっています。推進してきた市長や市会与党(自民、民主、公明など)も追い込まれ、議会での発言に変化も。さらに声を広げ、計画をやめさせましょう。



## 休日急病診療所廃止後、 山科の受診者が激減

2011年2月末で、市内3カ所の急病診が二条駅前1カ所に統合廃止され、山科の東診療所は廃止に。前年と比べ(特に小児科)受診者が激減していることが明確に。遠い中、731人も受診していることを見ても、山科での診療所の復活が必要です。

|                 | 山科区    | 市内計     |
|-----------------|--------|---------|
| 2010年3月~2011年1月 | 1,539人 | 26,610人 |
| 2011年3月~2012年1月 | 731人   | 29,819人 |
| 増減              | -808人  | +3,209人 |

2012年2月の京都市資料より

「一月、待合室にいっぱいの子どもで大混雑していた」との声も。根本的な改善が必要です。